

臨床研究「心房細動アブレーション後の再発と睡眠の質との関連についての検討」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究の目的は心房細動に対するカテーテルアブレーション後の再発と、睡眠の質との関連を明らかにすることであり、睡眠の質の低下が再発率の増加に繋がることが示されれば、睡眠の質の改善が心房細動に対する新たな治療法となる可能性があります。

② 研究対象者

2009年8月1日から2011年1月31日までに当院で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けた患者様の中で、術前に睡眠ポリソムノグラフィ検査を受けている方。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日まで

③ 研究の方法

カテーテルアブレーション後に心房細動が再発した方と再発していない方で、睡眠ポリソムノグラフィの結果に差がないかを検討します。

④ 試料・情報の項目

診療記録（身長、体重、性別、内服内容、術中所見、術後の再発の有無）、検査データ（採血検査、心臓超音波検査、睡眠ポリソムノグラフィ）等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 教授 家田真樹

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 利益相反に関すること

当研究には治療に関係した企業と利益相反状態にある研究者はおりません。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 小田優香

循環器内科医局 電話 0298533143(平日 9～17時)